

仙台高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	工業倫理
科目基礎情報					
科目番号	0026		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業 / 演習		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	マテリアル環境工学科		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	1	
教科書/教材	書名: 初めての工業倫理 著者: 斉藤, 坂下 発行所: 昭和堂, および プリント				
担当教員	中村 富雄, 渡辺 隆, 葛原 俊介, 小林 仁				
到達目標					
IV-B-1技術者倫理の基本と実践 IV-B-1①技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を理解し、社会における技術者の役割と責任を説明できる。 IV-B-1②説明責任、内部告発、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的事項を理解し、説明できる。 IV-B-1③技術者を目指す者として、社会での行動規範としての技術者倫理を理解し、問題への適切な対応力（どのように問題を捉え、考え、行動するか）を身に付けて、課題解決のプロセスを実践できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
IV-B-1①	技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を理解し、社会における技術者の役割と責任について実例を基に評価できる	技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を理解し、社会における技術者の役割と責任について実例へ適用できる	技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を理解し、社会における技術者の役割と責任について実例へ適用できていない		
IV-B-1②	説明責任、内部告発、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的事項を理解し、実例を基に評価できる	説明責任、内部告発、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的事項を理解し、実例へ適用できる	説明責任、内部告発、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的事項を理解し、実例へ適用できていない		
IV-B-1③	技術者を目指す者として、社会での行動規範としての技術者倫理を理解し、問題への適切な対応力（どのように問題を捉え、考え、行動するか）を身に付けて、課題解決のプロセスについて実例を基に評価できる	技術者を目指す者として、社会での行動規範としての技術者倫理を理解し、問題への適切な対応力（どのように問題を捉え、考え、行動するか）を身に付けて、課題解決のプロセスについて実例へ適用できる	技術者を目指す者として、社会での行動規範としての技術者倫理を理解し、問題への適切な対応力（どのように問題を捉え、考え、行動するか）を身に付けて、課題解決のプロセスについて実例へ適用できていない		
学科の到達目標項目との関係					
JABEE B2 技術が社会と自然に及ぼす影響・効果を理解し、技術者として責任を持って行動できる能力					
教育方法等					
概要	この科目は企業で電子部品の生産設備および検査システムの設計を担当していた教員が、その経験を活かし第1週から第2週まで技術者倫理について講義形式で授業を行い、その後実習を行うものである。 ・個人と社会というものを理解し、自律的な技術者として社会の中で活躍することの意味と重要性を理解し、個人の責任を自覚する。 ・クラス別では、技術者倫理の基本と実例を、思考、調査、討論、発表を通して学ぶ。				
授業の進め方・方法	・自分自身で広く深く考え、表現できることが最も大切である。また、観点が異なれば、解がひとつだけではないことも多くある、グループ討論や人前で意見・調査の発表を行うので、専門への興味と知識について十分な準備と思考を必要とする。 ・連携科目: 2年生で学修した倫理の知識が前提となる。 予習: 毎回の授業前までに、授業で行う内容と意義を 考えて整理しておくこと。 復習: 毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。				
注意点					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	倫理, 技術者の倫理, 安全に関する基礎講座	「技術者としての倫理観」, 「技術者としての安全への対応」, 「リスクアセスメント」について説明できる	
		2週	製造物責任法, 倫理概念, 工学の倫理概念に関する基礎講座	「製造物責任」, 「技術者倫理が必要とされる社会的背景」, 「倫理問題の解決方法」について説明できる	
		3週	倫理問題に関する事例の調査	各事例における問題の捉え方についてまとめ・討論できる	
		4週	事例の確認と原因調査	各事例の発生原因について調査・討論できる	
		5週	事例の確認と原因調査	各事例の発生原因について調査・討論できる	
		6週	事例の問題対策	各事例が持つ問題を対策する方法について討論できる	
		7週	事例の問題対策	各事例が持つ問題の対策方法についてまとめる	
		8週	事例の調査結果, 問題対策に関する発表	倫理問題を対策するための方法を提案し「技術者としてふさわしい行動とは何か」を説明できる	
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	工学基礎	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)および 技術史	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)および 技術史	説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的な責任事項を説明できる。	3	
				技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性について説明できる。	3	
				技術者を指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。	3	
				全ての人々が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。	3	
				技術者を指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでいくことの重要性を認識している。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	25	25	0	50	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	25	25	0	50	0	100